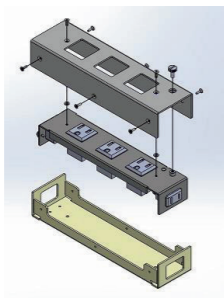




今後発売予定の連結タップ「Crystal3P」のプロトタイプも初公開



「Crystal3.1」のシャーシ構造

ように、トップカバーとボトムシャーシ、サブシャーシの3つのパーツで構成されています（メカニカル・アイソレーション・システム）。インレットからコンセントに至るまですべてのパーツをサブシャーシに搭載し、トップカバーとボトムシャーシから独立させることで、外部からの不要振動を減衰させる仕組みです。

1：6mmから2mmに強化され、振動吸収材に使われていたハネナイトをTAOC製の振動吸収シートに変更し、ボディ全体の剛性を高め、さらなる安定感を実現しました。

また、トップカバーとサブシャーシの結合部のスベークスをチタン製から、超低周波から超音波領域まで減衰が可能な制合金M2052に変更しました。

さらに、コンセントやインレットプラグは、挿入時に外装ケースにプラグが触れないように、適切な距離感を持たせてマウントしています。

内部配線は単線を継承し、4N無酸素銅から1・6mmの錫メッキに変更。ハンダも特殊成分を配合したものを吟味、厳選し、自社の特選マイスターによる熟練した技術で、すべて手作業で組み上げているのもアピールポイントです。

― 従来シリーズとの音質の違い（メリット）はどこにありますでしょうか？

もちろん「フォースバー・シリーズ」をはるかに超えるクオリティを実現させています。聴感上の帯域の広さやバランス、空間表現や透明感が増し、ずっと聴き続けていたような音質に仕上げました。ローエンドまで深く沈みこむ



「Crystal3.1/6.1」の詳細はこちらから

KOJO TECHNOLOGY

Crystal3.1/6.1

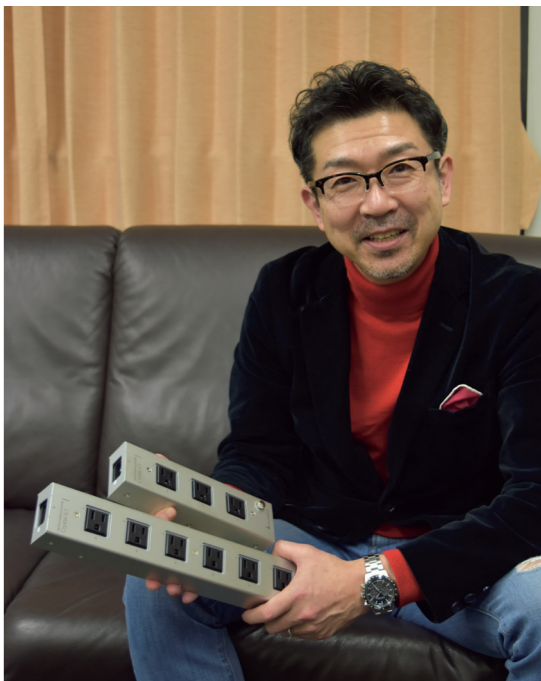
Specifications

●サイズ/質量:「3.1」=59W×37H×213Dmm/約665g、「6.1」=59W×37H×363Dmm/約1080g●取り扱い:(株)光城精工

電源タップ 3.1=¥19,000/6.1=¥26,000(ともに税別)

人気の連結式電源タップがさらに進化、“クリスタル・シリーズ”を開発者が語る

KOJO TECHNOLOGY(光城精工)より発売された“連結式電源ボックス”である「フォースバー・シリーズ」がグレードアップ。新たに「クリスタル・シリーズ」として登場することになった。先行して発売されたのは3口仕様の「Crystal3.1」と6口仕様の「Crystal6.1」の2モデル。これを皮切りに順次すべてのモデルがこの新シリーズへと移行することになる。本項では開発者である(株)光城精工の電源事業部長、土岐泰義氏に登場していただき、「クリスタル・シリーズ」のコンセプトやその魅力について語っていただいた。



人気の「フォースバー・シリーズ」に続き、「クリスタル・シリーズ」の開発を手掛ける(株)光城精工の電源事業部長の土岐泰義氏

●インタビュー…編集部
振動対策や電磁波対策も強化さらなる高品位素材に変更

―「クリスタル・シリーズ」を開発するにいたった経緯をお聞かせください

これまでの「フォースバー・シリーズ」は3口タイプの「3・1」の発売を皮切りに丸6年が経過しました。つい最近発売を開始したイメージしか私自身ないのですが早いものですね。ラインアップも10機種におよび、そろそろ別な形のもの市場投入したいとなったわけです。ただ「見た目が変わった」というだけでは何の面白みもありません。「フォースバー・シリーズ」のハイコストパフォーマンス

マンスという利点を継承しながら、さらに進化を遂げた形で投入したいと考えました。

お陰様で、タップ同士をドッキングし、自分の所有するシステムに合致した電源タップを構築するということが定着しつつあるわけですが、「クリスタル・シリーズ」の導入にあたっては、「フォースバー・シリーズ」から得られたお客様からのご意見等を参考に、ブラッシュアップされたモデルが続々投入されて行くことになりました。

― 従来の「フォースバー・シリーズ」との技術的、素材的な近いをお聞かせください

構造的には従来シリーズと同じ

― 低価格帯の電源タップを市場投入することの意義は何でしょうか？

「フォースバー・シリーズ」の製品展開も同様ではありませんが、イベント等でオーディオ専用の電源タップを利用されているか否かを質問しますと、まだまだOAタップ等で済まされている方が意外に多いことに驚かされます。イベントではOAタップと弊社電源タップの比較試聴を実施したりするのですが、その変化やパフォーマンスにご来場いただいたお客様方も驚きを隠せない状況です。オ

― 「クリスタル・シリーズ」の今後発売予定のラインアップや将来の展望がありましたらお聞かせください

順次新製品を投入予定です。従来の「フォースバー・シリーズ」の販売により、収集されたお客様のニーズにお応えすべく、それぞれ改良した形で投入を予定しています。次の製品はパーチャル・リアリティ・アース「フォースバーEP」のクリスタル版を製品化予定です。ぜひ楽しみにしてください。

― デイオ専用の電源タップは、従来よりそうそうたるメカさんが、それぞれのノウハウや技術を駆使し製品化されておりますが、なかなか手頃な価格帯のものが存在しません。もちろん、ハイエンドユ

ーザに対するラインアップとしては必要とされるのですが、KJOはオーディオファンの裾野を広める意味でも、低価格帯の電源タップも必要であるうと考えたわけです。まだまだ自分のシステムも捨てたもんじゃありません。もっともっと楽しめる。「オーディオって楽しい」を目指して、以降も「クリスタル・シリーズ」を展開していきたいと考えております。

「クリスタル・シリーズ」と「フォースバー・シリーズ」の音質を比較

Text by 炭山アキラ Akira Suniyama

歪み感が下がり、広大な音場 音楽の品位が確実にアップ

聴き慣れた「フォースバー3・1」から「クリスタル3・1」に交換して音を聴き比べると、一聴してほんのわずかに音量感が下がったように感じられたが、いや、これは歪み感が下がったせいだとすぐに理解できた。音場は明らかに広がり、何より音楽の品位が1ランク確実にアップしている。しっとりとした音場の中から楽器群が颯爽と姿を現し、音楽の情感をよりいっそう引き立たせる。そんな感じの変化である。声は一段とバリのようなものが取れ、耳へスルリと入ってくるようになった。「フォースバー」の絶対的な性能の高さからして、「クリスタル」の品位はかなりの高みへ達したといっただろう。価格差以上の性能差をはっきりと感じさせてくれた。魅力的な製品だ。